



チーム医療GP「人材養成プログラム・会議の進め方」

『～チームがまとまる、活性化する～ ファシリテーションの表技・裏技』

医療現場の会議でよく見かけるのは、「声大きい人だけが一方的にしゃべり、他の人は黙って聞いている、最後はパワーを持った人が意思決定をする」というパターンです。

これは、ほとんどの参加者は議論のプロセスに参加できていないので、決定事項にたいしての納得は生まれにくい構造です。現場に戻れば、「なぜ自分たちの意見が反映されないのか」と部下からの突き上げを食らいます。

確かに、医療現場は話し合うことが難しい組織です。多忙なプロフェッショナルどうしが集まり、短時間で意思決定をしなければなりません。職業パワーの差が大きく、対等な議論がしにくい文化もあります。

しかし、そのような状況でも、ファシリテーションの考え方は必ず役立ちます。ファシリテーションは、「メンバーの参加と対話を促進し、学びや創造を容易にする技術」です。ファシリテーションを学ぶことで、よりメンバーの意見を活発にしたり、より納得感のある意思決定を引き出すことができます。良い話し合いができると、メンバーどうしの関係性もぐっと向上します。

年間 150 回以上の、ワークショップやミーティングに携わるファシリテーターが、ファシリテーションの表技・裏技を分かりやすくお伝えします。

開催案内

日時：平成 25 年 11 月 14 日（木）18：00～20：00

場所：けやき棟 展望ラウンジ

講師：守屋 文貴 先生

（株）アクリート・ワークス 代表取締役社長）

平成 13 年 横浜市立大学医学部卒業

医師／コーチ養成機関CTIジャパン応用コース修了／

米国 NLP 協会認定マスタープラクティショナー／

ワールドカフェプラクティショナー・組織改革プロセスファシリテーター

（Humanvalue 社認定）／MBTI® 認定ユーザー



対象：附属病院全教職員（グループワークは定員 15 名：事前申込み者優先）

内容（予定）

- ・ファシリテーションって何？
- ・すぐに役立つ！ファシリテーション 3つの基本スキル
- ・合意形成を産みだす基戦略
- ・場（コンテンツとプロセス）を読む力を向上させる
- ・ファシリテーターのBe（心のあり方）

研修等の情報・お問合せ・お申込み

URL http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/team_iryo/workshop/index.html

筑波大学附属病院 総合臨床教育センター
チーム医療教育推進室（担当 稲葉）

Tel:029-853-3520

E-mail: team.iryo

@un.tsukuba.ac.jp

